

Discovery

松商学園高等学校
Season V

活躍するクラブ活動

松商学園高校は運動部の活躍が目覚ましいが、文化部もさまざまな分野で活躍している。今夏、全国大会に出場するトワリングバトン部、棋道部、放送部を紹介する。

競技で、ミリタリーは、統一のとれたシャープで精密な動きを競う種目だ。昨年はミリタリーで全国4位の好成績を残したが、今年はさらに上位を目指し練習に励んでいる。



囲碁の団体戦で全国大会出場する内川さん

棋道部

棋道部の内川萌さん（2年）は、30、31日に茨城県で開かれる第38回全国高校総合文化祭の囲碁団体戦に出場する。昨冬の県新人戦で準優勝したのが評価

る「スイス方式」で順位を決める。内川さんは、父親に誘われて小学5年から源池囲碁センター（松本市）で囲碁を始め、現在も部活とセンターの両方で練習を重ねている。「定石がある戦いの中で、どうすれば自分が優位に立てるか、先を読んで考えるのが楽しい」と言う。顧問の丸山紀明教諭は「今年の長野県は強いので、団体戦で上位を目指すのでは」。内川さんは「自分より格上の選手と組むので、足を引っ張らないように頑張りたい。初めての全国だが、優勝目指して練習をしていきたい」と意欲を見せる。

トワリングバトン部

トワリングバトン部は、ダンスドリル選手権甲信越大会（6月8日・長野市信州新町体育館）の成績が認められ、全国大会（8月2、3日・大阪市中央体育館）出場を決めた。

全国に進むのは、「メジャーレット」「ミリタリー」の両部。ダンス演技を融合した

ひたむきに躍進 全国の舞台へ



甲信越大会で息の合った演技を見せたトワリングバトン部

全国大会は強豪校が集う。松商学園のバトン部は、もともと「楽しく踊りたい」という未経験者が大半のクラブだが、「せっつかくやるからには上を目指したい」と、数年前から生徒主体で意識改革を進めてきた。身だしなみをきちんとする、化粧はしないなど規律の面から全員の意識を統一。ダンスに不可欠な体幹づくりにも重点的に取り組んできた。草間さんは「練習をしていて、上手になったことを実感できる瞬間が一番うれしい。全国はレベルが高いが、笑顔とやる気は負けないので、今年はトロフィを目指してさらに完成度を高めたい」と意欲を見せる。

放送部

放送部は、21、24日に東京都内で開かれるNHK杯全国高校放送コンテストのテレビドキュメント、テレビドラマ、ラジオドラマ、研究発表、個人のアナウンス、朗読の全部門で出場する。6月14、15日に長野市で開かれた県大会で出場権を獲得。全国出場は28年連続で、番組4部門中2部門とアナウンス部門がNHK長野賞を受けた。



全国大会に28年連続出場する放送部

が飛ばした風船が結んだ、岩手県の人たちとの縁を追い掛けた作品だ。部員たちは5月に陸前高田市に出掛け、取材、撮影した。アナウンス部門では瀬古千絵さん（以下3年）が、朗読部門では松倉可奈さんと早川美波さんが全国に出場。丸田修平部長は「1年の時から編集に携わってきたが、3年間やってきて納得のいく作品が作れたと思う。最後の夏に全国優勝を目指したい」と話している。